

36 ヨタカ

(ヨタカ目)

兵庫県ランク:A

Caprimulgus indicus

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:NT(準絶滅危惧)

種の概要

北海道、本州、四国、九州では夏鳥。兵庫県では主に4-11月に見られるが多くない。山麓から山地の疎林や林縁に生息し、夜間、飛翔中の昆虫類を捕食する。巣らしいものは作らず、地上に産卵する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、(西宮市)、(芦屋市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、(宝塚市)、(川西市)、(三田市)、(篠山市)、(養父市)、丹波市、(南あわじ市)、朝来市、宍粟市、たつの市、(多可町)、(上郡町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクに変更。
 かつては県内各地の山麓から山地で、暮れの頃から早朝まで鳴きつづける声がよく聞かれていた。しかし、近年は極端に減少した状態である。



写真提供:三谷康則

保護上の留意点

草原や灌木が隣接する落葉広葉樹や針葉樹の森林の保全が重要。



写真提供:松重和太